

会報 第56号



発行者 社会福祉法人筑紫会 理事長 吉原 毅
 障害者支援施設 真壁授産学園 電話 0296-55-4007
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 1464-1
 障害者支援施設 真壁厚生学園 電話 0296-54-2578
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 8 5 2
 編集 筑紫会報 編集委員会



ひなの家 (C26) 2019

バージョンアップ真壁のひなまつり



- ひなの家駐車場 看板が入口に設置してあります。
- 『ひなの家』入り口からひな壇周りに青竹に桃の花等を飾り、5セットのひな壇が皆様を出迎えます。
- 小物・古布・地場野菜等を販売しております。
- 軽食、コーヒー等体の温まる物をご用意しております。(土・日・祝日)
- 駐車場・休憩所(トイレ)を完備しております。
- 場所 桜川市真壁町亀熊 1992-1
 ひなまつりマップ・・・186
 エリアC・・・C26
 お問い合わせ先 真壁厚生学園
 0296-54-2578

真壁のひなまつり 2月4日～3月3日

社会福祉法人 筑紫会

二月四日～ 三月三日	真壁のひなまつり出店(筑紫会)
三月	三者面談 (授産・厚生)
四月二十八日	合同運動会 終了後帰宅外泊 後援会役員会(運動会終了後) ゴールデンウィーク休み
六月	四月二十九日～五月六日まで(通所) 帰園日 授産・厚生(午後) 後援会定期総会 (午後) 奉仕作業 (授産・厚生)
七月十三日	合同夏祭り (授産・厚生)
八月十日	夏祭り終了後 帰宅外泊 夏期休暇 通所(十一日～十六日)
十六日	帰園日 授産・厚生(午後)

§ 行事のお知らせ §

目次

- ・ 行事のお知らせ・・・1 P
- ・ 新しい時代に向けての取組/研修報告・・・2 P
- ・ 様々な研修を通し学ぶ姿勢・・・3 P
- ・ 施設内行事・宿泊旅行・・・4 P
- ・ クオリティオブライフをモットーに・・・5 P
- ・ グループホームハピネスを訪ねて・・・6 P
- ・ 会員の広場・・・7 P
- ・ ありがとう善意の心・・・8 P
- ・ 表彰受賞者・・・8 P
- ・ 苦情受付情報・・・8 P
- ・ 入、退職者・入所者のお知らせ・・・8 P
- ・ 編集後記・・・8 P

新しい時代に向けての取り組み

研修報告

真壁授産学園 施設長 吉原大樹

【ノースカロライナ TEACCH プログラム成人期ASD支援視察研修】

自閉症やアスペルガー、発達障害などの自閉症スペクトラム障害（以下ASD）の方々に対してより良い福祉サービスを提供したいと考え、ASDに對する構造化（ストラクチャー）支援で高い評価を受けている『TEACCHプログラム』などを学びに、アメリカノースカロライナにある構造化支援・研究の聖地 TEACCH センターに行ってみました。

▼アメリカのスーパーでの体験

構造化について現地のスーパーでチョコレートを購入しようとした時のことを例に挙げてごく簡単にご紹介します。訪問先のチャペルヒルは観光地ではないため、日本人はもとよりアジア系の人たちをまず見かけません。そんな場所ですから、日本語が全く通じない上に店のシステムもよく理解していない状態で買い物をしました。

「三つ購入するとこの値段で（安く）買えますよ」と書かれている（と思われる）表示があったので、お土産にしようとしてチョコレートを大量に購入しました。しかし、レジを通して支払いを

これからの筑紫会

済ませると全く割引がされていません。店員さんに確認してみたところ、「商品棚に備え付けてある『クーポン』を商品と一緒にレジに持ってこない」と割引にならないとのこと。日本であれば、そのままレジで割引されるか、そうでなくとも申し出れば後からでも割引を適応してくれると思いますが、そこでは違いました。かつ購入し直したとしても、『三分』しか割引対象にならないと言うのです。

▼異国の地でASDを体験する

この出来事はある種ASDなどの方が置かれている状態を疑似体験したとも言えます。ASDの中でもその特性は多岐に渡るため一概には言えませんが、多くの方が言葉などでの理解を得意とせず、写真や絵などの視覚情報を理解しやすいという傾向にあります。また、支援者の言っていることは聞いたこともない外国語で話をされているように感じている方々も多くいるようです。

今回私は中学から学習してきたはずの英語であるにもかかわらず、買い方を理解するのにだいぶ苦労したのですから、自閉症などの方がまったく聞いたこともない言語のみで『支援』を受

けているとしたらどのような思いいでいるでしょうか。

更に現地では当たり前と思われる「その場にあるクーポンを自分で剥がして商品と一緒にレジに持って行く」という概念が私にはありませんでした。言語による理解がほぼできず、概念も皆無の状態にあった私ですが、仮に絵や写真などで視覚的にわかり易く『構造化』してあったとしたら、きっと不安やストレスは軽減され、もっと快適に買い物できたのではないかと思います。

ASD等の中で一定数の方は、今回私が体験したような状態に常に身を置いていることになります。もしあなたがASDの方に対して「なんでこんな何回も（言葉で）説明しているのかわかってくれないんだ」とお困りだとしたなら、是非このエピソードを思い出していただいて、相手の特性を良く理解することに努めた上で、構造化支援を取り入れてみるのはいかがでしょうか。



最先端ゆく農福連携に触れて

十月十日に筑紫会の農業に携わる職員で初の県外合同視察研修として群馬県前橋市の社会福祉法人ゆずりは会『菜の花』様に見学へ行ってみました。

今現在、全国規模で農福連携（農業と福祉の融合、連携）が叫ばれている中、農業に特化した施設を見学し、どのように工賃向上について取り組んでいるか、あるいは自分達、ご利用者様のモチベーションをいかに上げるか？という事が不可欠と感じたからです。

『菜の花』様では、田畑で七ヘクタール以上の面積を耕起し、ライスセクターも併設し、尚且つ自然栽培農法にも取り組んでおられ、農薬、肥料を使わない安心安全を前面に打ち出した米作り、販売を手掛けていました。自然栽培というブランドを掲げて、日々研究しているそうです。

今は慣行栽培と自然栽培を両立している段階ですが、環境に優しく、消費者の健康志向にも繋がられ、コストを下げ高収入を…という話を受け、大いに関心を持つことができました。

全国には農業分野だけでも色々な取り組みをされている事業所が沢山あり、活躍されています。私達も真壁の地で活躍できるフィールドを構築しなければと思った次第です。

感染症対策く研修で学ぶく

当法人では、インフルエンザやノロウイルス等の感染症対策について、毎年、研修を重ねてきておりますが、今年、講師の方をお招きして十月二十日、その予防策や感染拡大の防止などの研修を行いました。

茨城県西部メディカルセンター感染管理認定看護師の海老澤浩美様を講師にお迎えして、知識面だけでなく、実践的なことも含めた講義をして頂きました。

◆実践形式の講義

講義では、感染症とはどういうものか等の基礎的な話から、感染症の種類、有効な予防策や治療法など、様々なことを教えて頂きました。また、講義の途中、マスクやエプロン、手袋等の正しい着脱法を実践してみました。資料で見ると、実践で行うのとでは大違いで、着脱の順番を間違えて覚えていたなど、覚えている様で忘れていた事が沢山ありました。

◆新たな発見

今回、ブラックライトに反応する液体

体を細菌に見立てて、エプロンや手袋の着脱を行いました。すると、つくはずのない箇所（肘の部分）にまでくつきりと液体が付着していました。また、嘔吐物の処理でも、本来、付着するはずのない場所にまで、液体が反応しており、「遠い所にまで飛んでいるなんて…」と、職員一同、驚きを隠せませんでした。自分では十分に注意をしていますが、実際にはかなり付着しており、エプロンや手袋をしているからと言って安心してはいけないことが分かりました。



交換研修

十月十四く十六日
千葉県八街市 社会福祉法人 光明会へ

真壁授産学園 支援員 猪野木一也

交換研修での「就職するなら明朗塾」本部を見学した際に、ご利用者の皆様が生き生きとした表情で、自分らしさを存分に発揮しながら生活している様子が印象的でした。

●自分らしくある為に●

高い自由度の中にもきちんとした規律と個人の要望を尊重した支援体制に、安心して楽しく過ごせる環境を感じ取ることが出来ました。明朗アカデミーの各キャンパスの見学では、就労を目指すための各種カリキュラムが用意されており、各キャンパス独自の特色が出されていました。その様々なカリキュラムやプログラムを通し、就労

フライングディスク

コーチに携わって

十月十三く十五日

真壁厚生学園 支援員 高野麻布由

今回、茨城県障害者スポーツ・文化協会様からフライングディスクコーチとしての技術指導を受け、全国障がい者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」に参加させて頂きました。各都道

においての能力向上ばかりではなく、ご利用者様が心身ともに健康で過ごせる環境も整っていることがとても素敵だと感じました。

●これからの繋げる●

この研修で、様々な角度から光明会様を見学し、職員一人一人の意識の高さに、自分自身に良い刺激になったというのが一番の感想です。改めて働くことの意味、障がい者支援、福祉とは何かと考えさせられる部分もあり、これからまた、新たな心境で仕事に取り組んでいければと感じました。

府県から選抜された選手の皆様たちは、強化練習を経て、福井県での全国大会に臨んで出場しております。

練習会では、茨城県選抜選手の皆さんは、緊張のためか、選手同士話をする様子はあまりありませんでしたが、大会当日になると、「頑張れ」「おめでとう」等、選手同士励まし合い、笑顔でそれぞれの健闘をたたえる様子が随所に見受けられ、フライングディスクチームが一つになったように感じました。良い結果が出た選手、記録が伸びなかった選手と様々でしたが、どの選手もきらきらと輝いていました。

来年度は、地元の茨城で「生き生き茨城ゆめ大会」が開催されます。存分にスポーツを楽しめるよう、微力ながら盛り上げていきたいと思っております。

笑顔あふれる 平成最後の学園祭!



平成三十年十一月二十三日、『It, s 笑 Time』平成最後の思い出を〜』というテーマのもと、合同学園祭が開催されました。今年は天候にも恵まれ、開始時間と同時に沢山のお客様に来場して頂くことが出来ました。

今回は食堂でのバザー販売から一新し、フードコート兼休憩スペースとして開放しました。バザーがなくなったことを惜しむお客様もいらつしやいましたが、それ以上にフードコートは沢山のお客様がいらつしやりました。山のお客様がいらつしやりました。キッズスペースも設けたことで楽しそうな声が響き渡り、活気に満ち溢れていました。

イベントでは、神立参伍会様によるお囃子や、明野よさこい様によるよさこいソーランの踊り、今や毎年の恒例になりつつあるJuKeBoX様のライブ、さらにはサプライズ出演として職員バンドの演奏と盛りだくさんの内容

でした。どのイベントも非常に盛り上がり、ステージ周辺は笑顔のお客様でいっぱいとなったのが印象的です。模擬店ではラーメン・クレープ・たこ焼き等の定番メニューや、後援会のご父兄の方と魚徳さんが愛情込めて作ってくれたメニューはもちろんのこと、新商品として登場した『玉こんにゃく』『フライドポテト』は大変好評で「すごく美味しい!」と午前中に完売してしまっただけでした。

毎年恒例の抽選会では例年よりも大勢の方に参加頂き、大盛況のうちに終了となりました。学園祭の開催にあたっては、多くの関係機関の皆様からの温かなご支援・ご協力のおかげで今年も素晴らしい学園祭にすることが出来ました。この場をお借り致しまして御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



楽しい旅行で 心も体もリフレッシュ

《那須方面》

十月二十一日(日)〜二十二日(月)に掛けて那須方面へ旅行に出かけています。今回はあえて予定を沢山組まずに、ゆつくりとした時間の中で、そして旅行が楽しめるよう企画しました。前日まで天候の心配もありましたが、二日間とも晴天に恵まれ、旅行日和となっています。

一日目はりんどう湖フアミリー牧場へ行き、りんどう湖周辺の散策をしました。動物に触れあう班、グルメを満喫する班、湖にてアヒルボートに乗る班、ベ

ンチに座り、ゆつたりとした時間を過ごす班と、各班がそれぞれに合った過ごし方で満喫しています。宿泊先であるエピナル那須へ到着すると「前にも来たことある!」と懐かしそうにしている方もいました。夕食は貸切宴会場でのバイキング。色々な種類の料理が沢山並び、デザートまで食べて大満足でした。利用者さんや職員によるカラオケも大いに盛り上がり、賑やかな一夜となりました。

二日目はりんご狩りを体験し、試食で頂いたりんごを口に入れると「甘い!」と思わずにんまりしていました。二日間共に怪我や事故もなく、各々が楽しい時間を過ごし、笑顔も多く見受けられ、充実した旅行になったようでした。

《大洗方面》

那須方面旅行と同日、少人数で大洗方面へ旅行に行ってきました。一日目はアクアワールド大洗にてたくさんのお魚や海の生き物を見ることが出来ました。イルカショーは定員になってしまいましたが、みることは叶いませんでしたが、アクアホールで水中の様子を見ることができ、イルカが目の前を勢いよく泳ぐ姿を見て皆さん満足した様子でした。

ホテルでは美味しい海の幸をメインとしたコース料理を堪能。更にホテルからは太平洋を眺めることができ、「見て!景色が綺麗だよ!」と大満足の様子でした。

二日目はコキアが見頃を迎えたひたち海浜公園を散策しています。天気が良い、赤く色づいたコキアも大変鮮やかでした。またコキアの丘の麓にはソバの花やコスモスが咲き誇り、秋の風を感じながらゆつたりと散策を楽しむことが出来ました。



思い出いっぱい！宿泊旅行

◆宿泊旅行 【真壁厚生学園】

十月十四日～十五日にかけて、利用者さんが毎年楽しみにしている宿泊旅行に出掛けてきました。旅行の数日前から皆さんソワソワ。「俺、一号車だ！」

「一緒に部屋だね、よろしくね。」など、早くから旅行に胸を弾ませた会話が聞かれていました。

一日目は、那須のりんどう湖ファミリー牧場へ。ある班はアルパカやカピバラといった珍しい動物と触れ合ったり、ある班は遊覧船で水上の旅を楽しんだりと、それぞれに満喫する様子が見られました。また、昼食はお肉や野菜がアツアツで頂ける鉄板焼き！焼いたり食べたりしながら、各テーブルで旅行の話に花が咲きました。



宿泊は、例年とは一風変わったホテル「華の湯」。みなさん大好きなバイキングでお腹を満たした後は、様々な種類の温泉にゆっくり浸かり、日々の疲れをリフレッシュ。

豪華なホテルで一夜を堪能しました。

二日目は、福島県にある「大野りんご農園」へ。真っ赤に実ったりんごを選び、口の中へ運べば、至福の時間の始まりです。



甘さと酸味が絶妙に混じり合った、これぞまさに旬のりんごに舌鼓。自分で選んで狩るという楽しさも手伝って、「おいしい！」「もっと食べたい！」と言った声があちこちで聞かれました。おしいりんごを堪能した後は、自然の中で記念撮影。利用者さんもお父兄も職員も、素敵な笑顔が並ぶ最高の一枚となりました。

宿泊旅行は、学園の行事と並んで、利用者さんが最も楽しみにしているイベントの一つです。今年も怪我や事故などなく、全員が楽しんで学園に帰ってくる事ができました。お忙しい中、今回の旅行にご参加いただいたご父兄の方々に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

自然の美味しさを満喫！
酒寄みかん狩り外出【厚生】

秋晴れの十一月、日常生活の一端の外出に重きを置き、創作活動班のメンバーで、真壁町酒寄にある地元のみかん農園にみかん狩りに出かけてきました。

外出が苦手な方や、みかん狩りが初めての方もおり、不安そうな表情を浮かべていましたが、それも現地に着くまで。一面に実ったみかんを見上げながら、「あれ食べたい！」、一口頬張った後は「甘くておいしい！」といった声が続々にあがりました。自分で好き



なみかんを選んで食べる、いつもとは違った贅沢なおやつ。お店には出回らない酒寄みかんを、それぞれが思う存分堪能していました。

また、マイクロバスを利用して大人数で行ったこともあり、帰りのバスの中でも酒寄みかんの話で持ち切りでした。

日常の中に新鮮な変化をもたらす外出。活動の励みになるよう、今後も継続して計画していきたいと思えます。

待望のサンタさん登場！ 笑顔のクリスマス会【厚生】

十二月二十二日、今年も盛大にクリスマス会が開催されました。利用者さんにとっては待ちに待ったイベントということで、会場準備の段階から、プレゼントや料理を楽しむに声が聞かれました。

会がスタートすると、オードブルやケーキなど豪華な食事を思う存分味わいながら、合間にクリスマスソングを合唱したり、大人気音楽グループ「DAMP」の『USA』を踊ったりと、賑やかな時間が過ぎていきました。楽しい企画を満喫した後は、いよ



いよ園長扮するサンタさんが登場です。利用者さん待望のクリスマスプレゼントを渡していくと、受け取った利用者さんからは歓喜の声があがっていました。その後にサンタさんと共に全員で撮った記念写真は、皆さんの笑顔が溢れる素晴らしい一枚となりました。

平成最後のクリスマス会も利用者さんの楽しい雰囲気包まれており、豪華な食事にプレゼントと、皆さん満足した表情があちこちで見られました。

クオリティオブライフの向上を目指して

より過ごしやすい生活空間へ

建物をいつまでも美しい状態に維持管理していくためには、日頃からのハウスキーピングや定期的な補修・修繕が必要で、そのためには、建物の外構や内装・水回り等、日頃の点検が欠かせません。

今回、施設の建物（ハード面）に目を向けてみました。真壁厚生学園では、平成三十一年度で事業開始二十五周年が経とうとしています。ここ数年間は、利用者様の高齢化や重度化に伴い、和室から洋室へと、居室のバリアフリー化を進めて参りました。和室の方が落ち着く方もいらっしやいますので、全室とまではいきませんが、ほぼ完了いたしました。

■温かみのある施設
園舎内塗装については、塗装が剥がれていた建具等のサンやドアの木枠等細かいところまでベージュ色に塗り、温かい感じになりました。職員や利用者様からは、「とってもいい感じね。雰囲気が変わりましたね。」と感想が寄せられました。

■クオリティオブライフをモットーに
平成三十一年度についても、持ち越しとなりましたトイレ等の改修工事を含め、これからも『クオリティオブライフ』の向上を目指し、利用者様の住まいの場・生活の場、さらに職員の皆様への働く環境を整備し、心に充実感を持って暮らすようにして行きたいと考えております。

■塗装・補修内容
平成三十年度は、
①園舎外装塗装工事
②園舎内塗装工事
③クロス張り替え

さらに、娯楽室や最後に残っていた管理棟のじゅうたんの張り替え等、現状での補修を行い、十二月末に完了しました。中でも、職員玄関先のアーチ型の円柱は少し色合いを変え変化をもたせ、管理棟のじゅうたんは、時代に即した大胆さを取り入れエンジと黒の市松模様にし、明るいモダンな感じにしました。

園舎内塗装については、塗装が剥がれていた建具等のサンやドアの木枠等細かいところまでベージュ色に塗り、温かい感じになりました。職員や利用者様からは、「とってもいい感じね。雰囲気が変わりましたね。」と感想が寄せられました。

平成三十一年度についても、持ち越しとなりましたトイレ等の改修工事を含め、これからも『クオリティオブライフ』の向上を目指し、利用者様の住まいの場・生活の場、さらに職員の皆様への働く環境を整備し、心に充実感を持って暮らすようにして行きたいと考えております。



入居から半年。住み心地は如何ですか？

以前よりも安心して安全な生活空間として整備し、完成したグループホームハピネス。

亀熊地区内に引っ越してから、一月で半年が経ちました。少しずつではありますが、建物内の器具の使い方や環境にも慣れ、地区内でのルールも身につけてきました。

前号では、ハピネスの概要などをご紹介いたしました。今号では、現在入居している利用者さんと世話人さんに、ハピネスでの住み心地を聞いてみました。

★入居者さんの声★

戸辺 浩美さん
マカパンは遠くなったけど、買い物や通院が近くなって、前よりは行きやすく楽になった。

中田美里枝さん
お風呂場が前より広くなって、ゆったり湯船に浸かれるし、脱衣室が暖かい。

石井 裕子さん
前よりもアパートみたいな一人部屋で楽しい。

桜井しげ子さん
新しい部屋は、掃除をするのが簡単になった。



関野 幸子さん
キッチンが広がって、世話人さんのお手伝いが出来てうれしい。これからは、料理をたくさん教わりたい。

安藤 康子さん
柳瀬 幸子さん
階段がゆるやかで上りやすい。荷物を持っていても、楽に上がれる。

森 庸江さん
玄関の扉が軽くて開けやすい。靴箱も広いので、入れるのが楽になった。

★世話人さんの声★
白井 光子さん
キッチンが広くなり、以前よりも調理しやすくなったので、これからもおいしい料理を沢山作りたいと思います。

これからも、皆さん仲良く元気に過ごして下さい。

シリーズ
会員の広場

会員の広場の掲載も、十九回目を迎えました。今回も保護者様に自由なテーマで書いて頂きました。

保護者様の学園に対する思いや世相感からの考え・期待が感じられるのではないかと思います。お忙しい中、誠にありがとうございます。



あれから二十六年

保護者 村山 和子

あの時、園長先生は「今迄大変だったんだから、これからはお母さん達、少し楽したら」と、私達に言っ下さいました。あれから二十六年、色々な事が走馬灯の様に頭をよぎります。

厚生学園にお世話になり三年が過ぎた頃には、息子は、「卒業」と言っ、家族の者を戸惑わせました。小学校、中学校、高校と卒業してきたので、真壁厚生学園も卒業出来ると思っっていたでしょう。「鉄雄、土浦養護の友達と一緒にね、お仕事頑張る所なんだよ」と言いますと、しばらくしてから納得しました？様子でした。

これまでを思い起こすと、パニック

を起こし、支援員の方を困らせた事、友達とのコミュニケーションが取れない事、そして、『こだわり』が強く、ルーティン（鉄雄の場合は枕に顔をうずめる事）をしてからでない、朝の作業に行けずに遅れる事などがありました。支援員の方は辛抱強く、そして、やさしく接して下さり、現在、息子は落ち着いて生活が出来ます。本当に感謝、感謝です。

今では、帰省の時など「昨日、納品に行った」と息子が言い、「そう、誰先生と行ったの？」と私が聞くと、「高久さんと納品に行った」と、嬉しそうに報告するのです。それを聞いて、私も安心して、真壁厚生学園にお願いして本当に良かったと思うのです。

◇自分にあつた楽しい人生を！

二十六年が経ち、親も息子も頭に白髪が目立ち始め、歳月を感じずにはいられません。健康に気を付けて日々楽しく過ごして行きたいと思っています。

今私は、家で野菜やお花を育てています。今年は殊のほか暑く、きゅうり、里芋など、葉が焼けて全滅でした。今迄で初めてで、がっかりしました。それでも冬野菜の大根や白菜などは、出来が良く人にあげたりして、一喜一憂しています。

平成の時代も最後、温暖化の今、地球が壊れ始め、予期せぬ事が各地で起きています。そして、次の時代、災害が起きぬ事を切に願っています。



合同夏祭りに参加して

踊り手ボランティアに感謝

保護者 森下 松寿

毎年、八月の旧盆の時期に授産学園と厚生学園の「合同夏祭り」が開催され、多くの利用者さんにとっても楽しいイベントとして定着しています。

当日は、利用者さんは盆踊りの衣装に着替え、多くの父兄や家族の参加により、晴れやかな表情をしていました。父兄の一人として、その表情を見て安心いたしました。また、出店では利用者さんの作った農作物（スイカなど）とパンが販売されており、購入し、食すると美味しい物でした。これも職員の皆様が支援して頂いた結晶と感謝しています。

その「にぎやかな夏祭り」の中で、数年前から「ヤーレンソーラン踊り」のボランティア団体の参加によって事

業自体が活性化したように思えます。このボランティア団体の参加は両学園が地域社会の中に存在する以上、大事なことです。数年前に起きた神奈川県内の悲劇的な事件を繰り返さない為にも、学園（施設）が地域社会の中で地域住民と共に生活し、共生・発展して行くようにならないといけないと思っます。ボランティア団体の参加促進には、職員の皆様には大きな負担が伴うことが考えられます。

父兄の一方的な要望を書いているように思いますが、書いている方も矛盾だらけです。

しかし、現在、憲法改正が論議される時代、基本的人権が国家の都合で制限が加えられるような条文が編入される時、現憲法の基本的人権論でさえ理想論としてないがしろにされつつあるように思えます。悲しいことです。

今、AI技術によって、多くの仕事に機械が取って変わられる時、健常者だけでなく、障がい者が生きる場所は更に狭くなります。地域社会の中で生きる場所を確保するには、ボランティアの参加の機会を増やすこと以外に地域との接点は無いように思えます。

途中から過激な文章になり、申し訳ありません。書いている内に悲観的なことばかり考えてしまいました。：ゴメン…。

ありがとう 善意の心

☆寄付・寄贈☆

(順不同)

桜川市長大塚秀喜様／白田信夫様
 林悦子様／ティック様／宮本電業様
 筒井塗料店様／大木商会様／稲葉勉様
 岡田農機具店様／大関隆弘様／魚徳様
 臼井もき商店様／塩野谷自動車商会様
 青木脩一様／成田利夫様／木代猛様
 季節料理ひら井様／藤田設計工房様
 Zeus様／小林正紀様／丸兼商事様
 石塚誠一様／永光パートナーズ様
 大和屋薬局様／川島書店様／中島勲様
 葛西正信様／沼尻誠様／西村三千子様
 風野和視様／谷島正路様／宮山畳店様
 橋本メガネ店様／よし原寿司様

《ご父兄様》

(順不同)

飯島直様／菅谷元一様／大塚昇様
 工藤忠男様／栗島民男様／斎藤俊夫様
 高田章様／根本明様／廣岡久様
 古沢道子様／細野庸一様／浅野敬繁様
 皆川美智子様／石山世喜子様
 臼井猛様／行田和美様／後藤新一郎様
 柴吉力様／寺田守様／豊島洋子様
 安藤昌知様／齋藤弘様／佐藤義夫様
 柴山貞夫様／正根知進様／袖山裕展様
 高野勇様／坪野谷隆夫様／中里大祐様
 沼尻功様／西村悦子様／野口宏様
 福吉和代様／油原邑江様／飯塚広吉様
 飯塚勝男様／伊藤勝也様／君山誠様
 小田島郁夫様／加藤梅子様／和田徹様
 徳永美保様／根本キイ様／村山道春様

高松三夫様／田中芳信様／村山英雄様
 飯田正夫様／飯村久様／岩渕二郎様
 大野芳廣様／岡部正敬様／川津忠男様
 笹目俊夫様／小須田宏二様／郡司浩様
 嶋原康博様／富田良子様／内藤俊彦様
 根岸定雄様／野寺道子様／中村講治様
 榎戸斗史夫様／郡司多己夫様

☆ボランティア☆

(順不同)

栗崎響樹様／小山妙子様／柴山実桜様
 福吉あやか様／笠井ひめか様
 森田夏海様／飯島洗正様／泉京介様
 杉山日菜様／筒井将基様／斉藤優那様
 瑞珠姫様／松永里瑠彩様／関望光様
 臼井史香様／齋藤功太郎様／加藤博様
 板倉実咲様／児玉彩也香様／桜之舞様
 佐藤美涼様／グリーンローズ様

☆奉仕作業☆

〈授産学園〉

〈厚生学園〉

二十七家庭三十二名 三十二家庭三十三名

☆おいしいお米☆



○京葉鈴木グループ代表、鈴木孝行様よりお米三十キロを真壁授産学園と真壁厚生学園の両施設に寄付をして頂きました。昨年同様、今年もたくさんのお米を寄付して頂き、感謝いたします。

☆豪華なお寿司☆

○風野和視様、そして、よし原寿司様に今年も新鮮なお寿司を握っていただきました。普段施設でお寿司を食べる機会

新規職員紹介



- ①出身地 ②趣味 ③性格 ④メッセージ
- ▼佐藤 美涼 (厚生・支援員)

①筑西市 ②インスタ映えする喫茶店に行く事。YouTubeを見る事。
 ③熱しやすく冷めやすい ④今まで福祉に携わった事がなく、分からないことだらけですが、頑張っていきますのでご指導の程、宜しくおねがいします。

入所・通所者・退職者のお知らせ

▽通所ご利用者様

10 / 1付 藤田 修治様 (授産)

▽施設入所利用変更

10 / 12付 枝川 和矢様 (授産)

11 / 1付 佐藤 貢様 (授産)

《通所↓入所》

▽退職者 (支援員)

9 / 30付 原 恵美利 (厚生)

12 / 31付 田崎 健一 (厚生)

12 / 31付 渡辺 雅雄 (授産)

12 / 31付 小川 麻美 (授産)

がない為、ご利用者様はこの日をとて楽しんでおりました。当日は笑顔で美味しく食べていました。

両学園の事業にご支援頂き



誠にありがとうございます。
 この場をお借りいたしました。

御礼申し上げます

《平成三十年年度表彰受賞者》

受賞おめでとうございます。

☆茨城県福祉大会 知事表彰

○在職期間十八年以上且つ五十歳以上

看護師 西村 和代 (授産)

☆知的障害者福祉事業功労者表彰

○在職二十年以上

支援員 葛西 剛 (厚生)

☆桜川市地区優良安全運転管理者表彰

支援員 山本 明子 (授産)

苦情受付・相談

平成三十年年度苦情受付のご報告を致します。

1. 苦情申出件数 1件

2. 苦情内容

○職員の態度に関わる事項

3. 苦情解決状況

受付内容を精査し、改善致しました。
 施設のサービスに苦情があった場合には、それぞれの施設に苦情申し入れをお願い致します。

◎筑紫会苦情受付担当

真壁授産学園 高橋・大山

(0296・55・4007)

真壁厚生学園 吉原(晴)・杉山

(0296・54・2578)

◇編集後記◇

今年度は、和田・吉原(亜)・保坂・水柿(授産)・落合・木村・平井・高久(厚生)が編集致しました。